

17NSJ 派遣を終わって

第17回日本スカウトジャンボリー静岡実行委員長 脇坂 茂

熱かったジャンボリーの夏がようやく終わった。

昨年度から準備に入り、確定申し込み時にはスカウト・指導者併せて707名の参加を得ることができました。

今回のジャンボリーは、12年前の第14回日本ジャンボリーと同じく石川県珠洲市りふれっしゅ村鉢ヶ崎を会場として行われるだけでなく、大会の運営方式もサブキャンプをブロックが担当して運営する方式に戻されました。

そのため実行委員会の業務はスカウトを主体とした参加隊の派遣と、GHQを運営する本部スタッフに加え、サブキャンプ（SC）を運営する部隊の編成も行うこととなりました。特にSCでは参加隊への配給業務とサブキャンプスタッフに食事を提供する食堂の運営を担当したため、多くのスタッフが朝早くから夜遅くまで忙しく働いていただきました。

また今回は県連盟内にジャンボリー参加の機運を高めるために、シンボルマークの公募を行い、優秀な作品を県連盟定時総会で表彰してTシャツや派遣キャップ等のロゴマークとして使用することとしました。その結果、例年になく親しみのあるロゴマークがついた派遣グッズを提供することができたと考えています。

静岡県連盟は重点目標に

「未来を担う指導者の育成」 ユース年代の活動に支援しよう。

を掲げ、若い世代の活躍の場を積極的に提供して参りましたが、今回のGHQ

ならびにSHQのスタッフに多くのローバースカウトが参加されており、実行委員一同意を強くいたしました。

次のジャンボリーは日本連盟100周年を記念して東京で開催されます。ぜひ今回参加されたベンチャースカウトの皆さんが奉仕スタッフとして運営に携わっていただくことを期待いたしております。

皆様お疲れ様でした、そしてありがとうございました。